

消化器内科に通院中の（または過去に通院・入院されたことのある）
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では内視鏡検査を行う際に同意説明文書を用いて検査についての説明・同意を取らせて頂いていますが、同時に検査の際に採取した試料を研究に利用させて頂く「包括同意」を頂いております。

現在、私達は以下の臨床研究を実施しており、この研究において、過去に内視鏡検査で採取された小腸生検検体を用います。このような研究は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 炎症性腸疾患患者の細胞を用いたエンテロイドの作成

[研究機関] 北海道大学病院消化器内科

[研究代表者] 桂田 武彦（光学医療診療部・助教）

[研究の目的]

- ・ヒト腸管粘膜上皮細胞を用いて、エンテロイドという腸管上皮細胞の三次元培養モデルの作成法を確立する。
- ・抗菌ペプチドである α -defensin、及び、それを分泌する腸管上皮細胞の一つである Paneth 細胞の異常が炎症性腸疾患の病態形成に与える影響を、腸内細菌叢との関係を含めた細菌学的、免疫学的解析により解明する。

[研究の方法]

●利用する検体およびカルテ情報

検体：既存の小腸生検検体

カルテ情報：炎症性腸疾患の患者ではないという情報のみ

●研究の内容

すでに採取・保管されている生検検体を用いて、免疫染色を行った標本作製し、炎症性腸疾患患者さんの検体と比較を行います。

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する検体や情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを

特定できる個人情報を利用しません。

*上記の研究に検体・カルテ情報を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 消化器内科・光学医療診療部 担当医師 長島一哲, 桂田武彦

電話 011-716-1161 (内線 5795/5756) FAX 011-706-7867